

倉敷第一中学校学校だより



新生 R2

校訓

自分をたいせつにする
他をたいせつにする
新しく生きる

No. 19

令和2年10月1日

学年別学校公開日(3年生)

9月25日(金)に、3年生の学年別学校公開が実施されました。1・2年生は体育大会の前に実施しましたが、3年生は体育大会の1週間後を集大成とするということで準備してきました。当初は、午後グラウンドで、ダンスと長縄跳びを行う予定でしたが、あいにく前日からの雨でやむなく体育館でダンスのみの実施となりました。雨で保護者の参加が少ないのではという心配がありましたが、給食の時間あたりから続々と集まり始め、開始時刻には体育館ギャラリーはもちろん、体育館フロアにも多くの保護者が詰めかけて、完全に「密」な状態になってしまいました。生徒たちは、当日以上のハイテンションでダンスを踊り切り、たくさんの拍手を受けて満足そうでした。この様子は倉敷ケーブルテレビでも取り上げられました。



性教育講演会(1・3年生)

9月28日(月)の6校時に3年生、30日(水)の5・6校時に1年生を対象にした性教育講演会が行われました。3年生は、岡山二人クリニックの臨床心理士で不妊カウンセラーでもある門田貴子先生を講師にお迎えして、「未来のために、今の自分ができること」という演題で講演を聞きました。

男女の体の違いや妊娠の仕組みについて正しく知り、お互いを思いやることや、将来後悔しないために若いうちからライフプランを考えることが大切だということがわかりました。

1年生は、倉敷成人病センターの助産師である岸本長代先生を講師に、「成長と性徴 自分らしくいきいき生きる」という演題で講演を聞きました。短時間ながら盛りだくさんな内容で、人によってはまだピンと来ないこともあったようですが、第二次性徴期にある生徒たちに、命の大切さや、男女の違い、早期性接触の危険性を話してくださいました。「今の自分を大切にできなければ、今や将来の自分、将来の大切な人を守ることはできない。」という言葉が印象に残り、生徒たちは、みんなとても真剣に聞いていました。

